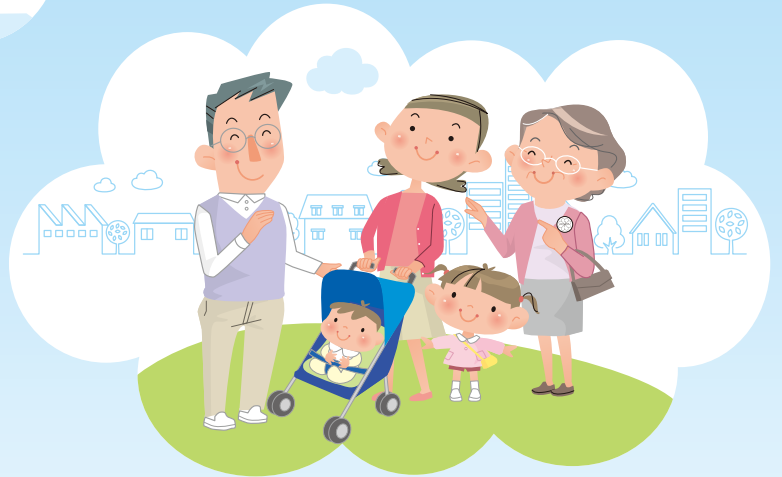


子育てを応援する 地域づくりにむけて

地域の子育て応援団と
なるために



子育てを応援する地域づくりにむけて 地域の子育て応援団となるために

目次

はじめに	1
I 子ども・子育て家庭をとりまく状況	2
1 子どもや子育て家庭をめぐる課題の現状	2
2 学校を中心とした関係者の連携による子どもたちの支援	5
II これからの児童委員活動の重点	9
全国児童委員活動強化推進方策2017	9
(参考) 児童委員活動を進めるうえで知っておきたい地域の資源	24
III 資料編	29
児童福祉法(抜粋)	29
児童委員の活動要領	30
児童憲章(前文)	33



はじめに

少子化や核家族化、人間関係の希薄化等のなかで、子どもや子育て家庭の抱える課題は、複雑・多様化しています。依然深刻な状況にある児童虐待に加えて、ひきこもりや不登校、いじめ、自殺、子どもの貧困等、いずれも社会全体として対応していくべき課題となっています。

こうした状況のなか、児童委員、主任児童委員には、住民の最も身近な相談相手として、地域住民や関係機関・団体と一層の連携を図りながら、子どもや子育て家庭の支援に取り組んでいくことが期待されています。

全国民生委員児童委員連合会では、児童委員活動の充実・強化をめざし、平成12年以降、「全国児童委員活動強化推進方策」を継続して策定し、それぞれの時代における社会状況、子どもや子育て家庭を取り巻く課題等を踏まえ、活動の方向性を提示してきました。

そして民生委員制度創設100周年であり、児童委員制度創設70周年でもある昨(平成29)年、児童委員活動の一層の推進を図るため、「全国児童委員活動強化推進方策2017」を策定しました。本書(43集)は、新たに策定したこの方策の内容を解説するとともに、具体的な実践につなげていくべく、具体的な取り組みなどを紹介する内容となっています。

現在、国においては、すべての人びとが自ら生活する地域において、主体的にそれぞれの役割をもちながら支え合う「地域共生社会」の実現をめざしています。こうした支え合いによる地域づくりは、子育て家庭にとってもやさしい社会づくりであり、その実現に向け、民生委員・児童委員においても地域づくりの一役を担っていくことが期待されています。本書がそうした活動を進めるための一助となれば幸いです。

終わりにあたり、本年度においても本書の作成にあたりご協力をいただきました明治学院大学 松原康雄学長に厚く御礼申しあげます。

平成30年1月
全国民生委員児童委員連合会
会長 得能 金市

